

広報うらそえで

あの時へ...

タイムスリップ

今まで多くの市民の皆さんが登場してきた広報うらそえ。「過去に広報誌に載ったことがある人」を募集したところ、今回3組の人たちが取材に応じてくれました。それぞれ、掲載された広報誌を今でも大切に保管しており、掲載された本人だけではなく、周りの家族にとっても大切な思い出となっていました。



EPISODE.1 平成24年1月号掲載  
2012 浦添小6年生の時に  
新年の抱負を語りました



2012年、市内の11小学校の6年生に「新年の抱負」を聞く企画で浦添小学校代表に選ばれ広報誌の表紙に掲載された宮城兄弟。兄の修人さんが提案した『文武両道』という言葉を描いたボードを手に笑顔でパシャリ。その目標を達成するかのように、勉強もスポーツも一生懸命に取り組んだ結果、4月からは大学生になります。「大学でも小学3年生から続けているサッカーを継続して頑張りたい」と話してくれました。

現在の2人が持ったボードには『凡事徹底』の文字。竜人さんは「普通のことをするのって意外と難しい」、修人さんは「人にあいさつをしたり、落ちてるゴミを拾うなど当たり前のことだけどちゃんできるように心掛けたい」と意気込んでいました。

当時の広報誌はおばあちゃんが今でも大切に保管していると言います。



▲いつも一緒に仲良く、とてもそっくりな双子の兄弟です。

EPISODE.2 平成16年2月号掲載  
2004 奇抜な髪型で  
参加した成人式



2004年2月号の成人式特集に載った嘉数源太さん。坊主に剃り込みが入った奇抜なヘアスタイルで成人式に参加すると、すぐに広報担当が声をかけてきて写真撮影されたと言います。「たくさん撮った中の1人でまさか掲載されるとは思っていなかった。お母さんは式典前日にその髪型を見て大激怒していましたが、掲載後は嬉しそうだった」と笑いながら話してくれました。最初は恥ずかしいと思っていたお母さんでしたが、知り合いだった広報担当に「息子さんだとは知らなかった。髪型は奇抜だったが、スーツでビシッと決まっていたので撮影した」という撮影理由を聞いて我が子に自信を持つことができたと言います。当時はその写真をいつも財布に入れてお守りのように毎日持ち歩いていたお母さん。今でも広報誌の切り抜きを大事に保管しています。

EPISODE.3 平成4年5月号掲載  
1992 小学校の入学式  
幼馴染の親子と一緒に



「こんな機会はめったにない。子どもたちが大きくなった時にまた思い出ができることがうれしい」と快く今回の企画に応じてくれた仲村渠さんと稲福さん家族。

当時写真を撮影した場所に集まり、広報誌を見て「広報誌に載ったことで声をかけられるなどちょっとした有名人でした」「お母さんこの時何歳？自分たちよりも若いよね」と、当時を振り返りながら思い出話を花を咲かせました。

「その時々瞬間を撮影した写真は宝物です」と話す石川さん（仲村渠さんの母）は当時の広報誌をラミネートして大切に保管していると言います。稲福さんは「おじいちゃんが今でも大切に保管しています」と話してくれました。

あれから26年、あの時表紙を飾った女の子たちは、結婚して子どもを授かり温かな家庭を築いた今、親子三代素敵な家族の姿がそこにはありません。



▲過去に掲載された広報誌を見て談笑するみなさん

歓迎会  
オリオンビールで  
アリ乾杯！

浦添市にモノレールがやってくることを知った少年のモノレールに早く乗りたいという気持ちが伝わってきます。

少年と夢を乗せた  
モノレール

広報担当として、とても嬉しい川柳です。ありがとうございます。浦添市にはまだまだ知られていない魅力が隠れていると思います。みなさんで街の魅力を見つけてみましょう！

広報誌  
まちの魅力を  
新発見！

生活習慣病患者を減らす事は浦添市の大きな課題でもあり、広報誌でも大きく取り上げました。病気になつてからは遅いので、みなさんも気を付けてください。

アルコール  
飲み過ぎ医者から  
ラブコール

西海岸にショッピングセンター建設が予定され、ほかにモノレール整備など注目を浴びている浦添市。素通りされる街なんて言わせません！(笑)

素通りと  
言われていたが  
これからは！

浦添市で暮らしていて面白かった出来事や日々感じていることなどの川柳が寄せられました。今回はその中でも、最も印象に残った作品を紹介します。

うらそえ  
川柳  
テーマ「日常生活」